



414
A1069



夫レ鐵道ノ建設ニ、政界ニ、隆急必要ナルハ今又
 西文ノ好ハリ候タスレバ、明カナリ候ハ、久既隆急ニ
 必要ナルハ、拘ハラスニカ、産稼ノ方、果シテ、海シ又ハ、之、
 着手モシ、フシ、金、何、ル、有、ノ、果、タ、者、テ、取、出、セ、サ、ル、ハ、恐、ラ、
 ク、ハ、資、金、ノ、集、積、ヲ、送、ラ、シ、國、外、親、シ、道、ニ、テ、良、好、ヲ、為、
 ラス、ハ、勇、力、ナ、ラ、サ、ル、ノ、致、ス、所、ナ、ラ、シ、ト、モ、モ、西、文、ヲ、以、
 テ、之、ヲ、觀、ル、ニ、鐵、道、運、送、ニ、充、用、ス、ル、カ、ハ、必、有、差、ノ、
 資、金、ヲ、得、シ、ハ、今日、ヲ、以、テ、即、チ、甚、ダ、易、シ、ト、ス、其、故、如、
 何、ト、ナ、レ、ハ、今日、ハ、社、會、一、般、親、リ、ニ、取、ル、ノ、國、難、ヲ、達、心、ハ、
 輻、古、入、算、易、ク、不、推、候、ヲ、歎、ク、ノ、状、ナ、レ、ハ、以、國、難、ヲ、
 救、濟、シ、以、算、易、不、推、濟、ヲ、平、呼、ス、ル、ハ、最、モ、適、シ、最、モ、
 所、ト、易、ク、方、法、ヲ、考、エ、出、シ、得、ハ、社、會、ノ、人、心、平、フ、テ、

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



之ニ傾向せしむルノ情見アルヲ知レハナリ也
而シテ又カ鐵道建設資金ヲ募集スルニ是モ各
界トナス所ノ事案ニ由リテ政府ノ保護トモ
之ヲ推シテ保有益ニ一大富強會社ヲ東京ニ創設シ
二十五ヶ年ヲ以テシテ毎年一回百萬乃至貳百萬
圓ヲ集メ富強會社ヲ以テ直ニ鐵道會社トシ
之ヲ全權ノ權理ヲ与ヘ以テ之ヲ以テ其富強會社
に納スルヲ以テカウシムルヲ以テスル則チ是レナリ
蓋シ富強ノ業ハ移カズ以テ法律ノ禁ムル所ナリトモ
氏素ト法律ノ役ケタルモノハ得テ社會ノ必要事業
に保有益セシカカメナリ然ラバ今以テ種ノ富強會
社トシテ苟クモ一國社會ヲ益スルノ利現行法律ニ
ハハテテ害ヨリ大ナリト認メハ所謂大利ヲ興スモノハ小

害ヲ計ラスト云フノ主義ヲ廢止漸ク臨機ノ方便
ヲ採用スルニ若カス若シ果シテ西文ノ企業行ハレテ
ハ其結果ハ物産増加貿易振興ノ強ク故メテ著ルニ
シテ社會ニ利成スルノ事ナラス交通運輸ノ便利自由ナ
ルヨリ自ラカク是レ人智ノ進歩ニ由リテ一般ノ富強
ニ加フルニ政府ニ於テハ非常ノ有ルノ際ニ於テハ以
鐵道ヲ修築スルニ在リテハ他ノ利成
ハ一ニ其利成スルニ由リテハ皇アラス諸所ノ如ク社會ノ利成
際ニ於テハ其利成スルニ由リテハ今日ニ在リテハ物ヲ富強
ナル唯一ノ方便ニ由リテハ之ヲ建設スルヲ以テハ
レハ以テ富強ノ主義ハ今日ニ在リテハ政府ニ於テハ
ニ於テハ一國社會ノ富強ナリト謂フモノナラズ
之ヨリ一層富強ノ良法ヲ得ルアラハ之ニ若クハナ

しと善哉 日文 予思ふ所ヲ逢ラ玉トモ月下ニカクニ此
ノ系アルヲ知ラス汝ニヤ其仁祖タニ及相ヲ見ル哉
ハ吾輩 儒者ノ勲 爲ニカカシト善哉 其文 勲 爲ノ
群ヲ受カレ道 徳ニ於テモ吾輩ニケルノ方 故ナ
ルヲヤ 日文 臣 奉 月 今ノ形 物ニ適スヘキ 富田ノ系
ヲ蒙ルセシト 叔 志ノ心 切ナルヲ 歎ニ 心 腦ノ 全 力
ヲ 究メ 而、 其 良 徳ノ 鐵 道 運 築 資 金ヲ 集ムルノ
一 点ニ 在ルノ 理ヲ 究 知シ 而、 又 其ノ 集ムルノ 方 法ニ
苦ミシカ 偶 然カ 今ノ 社 會 但 鐵ニ 於テハ 富 強 化
組ノ 益モ 遠 者ニ シテ 且 荷 易ナルヲ 爲スルニ 固
テ 宜シク、 誠ニ 吾 輩ノ 大 業ヲ 爲スルニ 以テ 予 等ニ
供スルシ 以テ 系ルニ 於テ ありト セラシムル 日文 輔 予 府
下ノ 均カ 者 輩ト 高 嶽シ 定 全 監 視セシ 組 別 書

ヲ 編 成 爲シ 再ヒ 予 等、 遠 夫 所 アラト ス 謹 言

明治十一年一月廿日

一 後 日文

高 嶽 大 隈 等 謹 言
閣下

